

たいにい・ぼっくすつうしん

Vol.64

令和2年
7月14日

相手を正しく理解するためには

いつもの7月であれば、学校に慣れてきた子どもたちの表情が窺えますが、今年はそうはいきません。毎日の学校生活に戸惑い、疲れた表情で事業所に来る子どもたち。休息の場として過ごす時間が必要な時期となっています。

例年のように外部研修に参加することが困難な状態で、今年は、事業所内研修に頼ることで福祉職としてのスキルアップを図ることとなりそうです。今月の事業所内研修のテーマは“自己覚知”について。福祉職に就くことで自己覚知という言葉を目にする人も多そうです。一言で説明すると、自分を知ることです。似ている言葉として、自己認識、自己理解などありますが、自己覚知は「職業的な自分をコントロールする」ことが含まれます。対人援助職と位置づける福祉業務で、ありのままに自分の感情で他者と対してしまうと、他者を受容しにくくなり、正しく理解できないということです。自分の先入観や価値観を取り除くことが、他者理解に繋がるのです。

団塊、ゆとり、コロナと、移ろいゆく時代を分けたりしますが、どの時代に生きて、人と共に生きるため変化をしなければならないのは自分自身なのだと思います。子どもたちに対し色眼鏡を掛けず曇りのない目で見つめる“たいにい・ぼっくす”なのだと感じてほしいです。

たいにい
のようす

写真掲載欄のため、内容を削除しております。

水遊びについて

毎年夏季長期休暇期間に“たいにい・ぼっくす”1階駐車場エリアで水遊びを実施しております。水遊びによる活動で新型コロナウイルス感染リスクについて検討した結果、リスク増大に至らないと判断し、例年通り実施することにしました。“たいにい・ぼっくすあさひ”の利用者も“たいにい・ぼっくす”に移動し、水遊びの活動をしますので水遊びのご用意（水着等）をお願いします。中学生以上の利用者につきましては、水着に着替えられない範囲での参加をお願いします。尚、“蜜”の状態にならないよう配慮するため、水遊び希望利用者が多数であった場合、ピックアップ形式をとらせていただきます。



8月の予定

AM 水遊び
PM 公園等外出活動

※毎月のおやつ作りは中止します

8月 休業日

1日 2日
8日 9日 10日
15日 16日
22日 23日
29日 30日